

2025年度 第22期  
 特定非営利活動法人シャロームの会  
**事業報告**

I 事業の総括

(1) 障がい者福祉事業につきましては、2003年12月25日の法人設立以来、「あなたはそのまま素晴らしい存在です(シャローム)」という言葉をもとに、一人ひとりの限らない可能性と個性を尊重しながら活動しております。

第22期は、2025年10月に障がい者相談支援事業所「カイロス」を開設し、多機能型事業所として「伴走型支援」を根底に置きながら、メンバーの社会進出に向けた支援体制を構築いたしました。

法人全体の事業運営につきましては、収支の改善を図りながら会員の皆様から温かいご支援を賜り、スタッフの緊密な連携体制によって別紙活動報告書、計算書のとおり各事業を無事に実施できましたことを心より感謝申し上げます。

(2) 企業主導型保育事業は当法人直営から5年が経過、少子化の影響で定員割れという大きな課題が生じましたが、ノキシタという地域共生事業のモデルを担うべく、今後も活動していきます。

(3) 地域共生事業である地域食堂「まざらいん食堂」「あがらいん食堂」「こどもレストラン」の3事業の開催につきましては、今期も宮城県共同募金会のご協力のもと実施いたしました。

II 法人の活動

1. 理事会の開催

- ①第1回 2025年5月16日 太陽とオリーブ会議室
- ②第2回 2025年7月10日 太陽とオリーブ会議室
- ③第3回 2025年8月26日 太陽とオリーブ会議室
- ④第4回 2026年2月6日 太陽とオリーブ会議室

2. 監査会の開催

2025年5月16日 太陽とオリーブ会議室

3. 定期総会の開催

- 2025年5月23日 第22回定期総会を仙台市中央卸売市場会議室にて開催
- 2025年9月26日 臨時総会を太陽とオリーブで開催

4. 届出申請に関する件

- 2025年5月29日 宮城県へ事業報告書を提出
- 2025年6月13日 仙台法務局へ役員重任登記申請
- 2025年11月13日 定款変更認可申請(事業の追加)
- 2025年12月19日 宮城県へ定款変更完了届出書を提出

2025年度 活動報告

4月	●仙台ハーフファミリーマラソン ●にこにこキノコの会発足(ピアさんの会) ~毎月一回開催	5月	●歩こうレク ●春号 通信発送 ●定期総会(卸売市場3階) ●ひまわりの会
6月	●感染症対策委員会 ●スタッフ研修(発達障害の基礎理解)	7月	●中堅者研修 ●夏通信・夏ギフト発送 ●各部署レク ●ひまわりの会
8月	●虐待防止委員会、BCP研修 ●スタッフ研修(仙台ダルク飯室施設長より)	9月	●感染症対策委員会 ●ひまわりの会
10月	●全体レク芋煮会(八木山ベニエーランド) ●スタッフ研修(ゲートキーパー研修) ●各部署研修旅行実施 ●宿泊レク(七ツ森 希望の家)	11月	●新寺防災避難訓練 ●秋・冬合併号 通信発送
12月	●冬ギフト発送 ●感染症対策委員会 ●スタッフ研修(パーソナリティ障害研修) ●各部署クリスマスレク ●年末ランチレク ●ひまわりの会	1月	●各部署 新年レク (新年 ホテルランチレク、鍋パーティー)
2月	●スタッフ研修(虐待防止研修) ●虐待防止委員会 ●ひまわりの会	3月	●リーダー・中堅者研修 ●感染症対策委員会

【特記事項】

◆4月 ランナー・応援団総勢55名参加で、ファミリーマラソンに2回目の出場をしました。快晴の中、着ぐるみをきた応援もあって、大いに盛り上がりました。

◆10月 コロナ以来久しぶりの宿泊研修(七ツ森希望の家)にいきました。総勢29名で、送迎バスに乗り、クラフト作成や卓球、花火やビンゴを楽しみ、部署をこえた交流を深めました。

◆毎月第1土曜日にこどもレストラン(田子西)  
毎月第3土曜日にまざらいん食堂(新寺)と書の会  
毎月第4木曜日にあがらいん食堂、(里)

◆ピアさんの自主的な活動の会「にこにこきのこの会」が発足し、毎月1回太陽とオリーブで楽しい交流の場をもっています。

【会員数】

2026年 3月31日現在

正会員	法人団体会員	25 団体
	個人会員	54 名
計		79 会員

賛助会員	法人団体会員	5 団体
	個人会員	78 名
計		83 会員

寄付会員	個人会員	13 名
計		13 会員

合計 175 会員

各部署 活動状況について

部署名	みどりの牧場	リーダー名	中鉢皓大
スタッフ名	佐々木幸穂、相沢桂子		
定員	10人	昨年度平均出席人数	6.3人

① 活動内容(昨年度の活動内容)

○利用者への適切な支援を行うためスタッフ間のMTや情報共有を重要視し一人一人に寄り添った細やかな支援を行った。  
 ○利用者が自身で1日の作業を選択できるよう作業の内容や種類を増やし、質の向上を目指した。  
 ○仙台市内の生活訓練の集まりに参加し、情報共有を行うと共に共同で冊子を作成するなど生活訓練の知名度上昇及び広報・周知活動に取り組んだ。  
 今後も通所率を維持・向上を目指しながら「楽しく学ぶ」そんな生活訓練として活動していきたいと考えています。

② 今年度の活動目標

利用者の方々それぞれが自身の目標や課題を達成できるようスタッフ間で連携し、一人一人に寄り添った細やかな支援を継続していきます。またプログラムについても利用者の方々に企画の段階から参加していただき利用者主体のプログラムを作っていきたいと思えます。それらを行っていく中で通所率の向上や安定的な通所率を目指していきます。

部署名	グレース	リーダー名	渡邊 沙織
スタッフ名	山下はる奈、鈴木隆志、勅使河原佑己、佐藤喜美雄、高橋滋、土屋章子、阿部倉まき子、原田朋子		
定員	20人	昨年度平均出席人数	18.8名

① 活動内容(昨年度の活動内容)

現在のグレースの登録者は37名です。一時期は40名以上の登録がありましたが、スキルアップの為に卒業をされた方もいます。年明けは体調を崩してしまうメンバーさんも多く通所率が下がってしまいました。また一般就労を目指しているメンバーさんと企業様の見学を行ったり就労支援にも力を入れていました。

授産の活動では喫茶「太陽とオリーブの」の運営の他に豆しば工房さんの小物作り、お寺清掃、フリーペーパーの配布などを行っております。太陽とオリーブのメニューも季節に合わせて限定メニューを考えたりしながらお客様の新規開拓をしました。その甲斐があって年明け以降お客様が多く来店され、喫茶に入るメンバーさんの意欲にもつながっております。豆しば工房さんの仕事は巳年ということもあり定期的に仕事が入ってきました。スタッフも一緒に作業をしながら急な納品にも対応をしていく一方で、スタッフの目が届かなかったという反省点もありました。

またファミリーマラソン大会の参加毎日のラジオ体操など体を多く動かす取り組みも昨年に引き続き行ってきました。グレース単体のレクリエーションの開催時には多くのメンバーさんが参加をされいつもの「仕事」とは違う雰囲気を楽しみとても好評で「次はこんなレクがいいね！」など言ってもらいました。

② 今年度の活動目標

今年度も大幅な新体制でのスタートとなりスタッフの勤務体制が変則的になっています。メンバーさんの支援に影響がないように情報共有を行いながら日々を過ごしていきます。新メンバーさんも入られましたが、今後も見学や体験者を増やしていきより多くの方にグレースを知ってもらい、楽しい安心して過ごせる場とサービスの提供を行っていきます。

部署名	ゆめの里エイト	リーダー名	今野史也
スタッフ名	今野、熊谷、小松、水間、谷関、菅井、岩松		
定員	10人	昨年度平均出席人数	8.6人
① 活動内容(昨年度の活動内容)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・食育フード清掃(月2回)、ノキシタ窓ふき掃除(隔月)、杜掃除(隔月)、水道メーター分解作業(7月～12月)ボール洗浄(R8,3月で終了)</li> <li>・ワックス清掃(岩切、シャロームの杜保育園年2回ずつ、岩沼基督教会12月実施)</li> <li>・福島米運搬10月、11月、12月、4月に実施。トラックをレンタルし南相馬市へ米50袋の引き取りに行った。</li> <li>・GHオリーブゆめの里の環境整備、雑草取りや木の剪定。一度詰まってからは月2回ずつグリストラップ清掃も行っている。</li> <li>・畑では玉ねぎ、レタス、じゃがいも、大根、白菜、夏野菜などの収穫をした。今年は初めて人参を植えたが大豊作だった。</li> <li>・毎月1回あがらいん食堂(地域食堂)を実施。6月にはパイロットクラブのみなさんと手作りピザお食事会、11月には地域の子どもを招いて書道教室&amp;手作り蕎麦を実施した。</li> </ul>			
② 今年度の活動目標			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年は畑でさつま芋、里いも、落花生などにも挑戦してみたい。毎年作っている玉ねぎやじゃがいもなども引き続き作付けする。昨年大豊作だった人参も植える。</li> <li>・定期的に頂いている掃除のお仕事を大切に継続して行っていく。</li> <li>・薪割り作業を今シーズン(11月末～翌4月)が来る前に安全面などの課題をクリアして薪割りシーズンを迎えたい。危険の伴う作業なのでメンバーさんと一緒に前向きに課題に取り組んで、作業の流れを作って行きたい。</li> </ul>			

部署名	オリーブの小路	リーダー名	石橋 文彦
スタッフ名	三上真人、三浦真由美、高橋百々子、佐藤寿子、渡邊真美、佐々木美佳		
定員	10人	昨年度平均出席率	121.8%
① 活動内容(2025年度の活動内容)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・月間平均売上¥1,310,105(一日平均¥65,505)年間総売上15,721,258円</li> <li>・売り上げは月額120万台から140万を超える月もあった。材料の高騰が続き、値上げを段階的に行っているが、原価率は上昇傾向が止まらない。</li> <li>・季節のメニューやデザートを提供し、保育園のお総菜販売の準備を行い、試験的な提供を行っている。</li> </ul>			
② 2026年度の活動目標			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援学校卒の皆さんのスキルアップを図り、ステップアップを推進していく。</li> <li>・原材料の高騰を吸収する様な付加価値高いメニューを投入していく。</li> <li>・保育園の惣菜販売等カレー以外の授産活動を確保できるようにしていく。</li> <li>・支援学校との連携を深め、実習などを積極的に受け入れていく様にする。</li> </ul>			

部署名	エリム事務センター・若水	リーダー名	菊地 仰
スタッフ名	石川、山田、泉田、藤山、原田、高橋		
定員	20人	昨年度平均出席人数	14人
① 活動内容(昨年度の活動内容)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート集計、交通量調査など新規作業を多数獲得し、また木の玉アクセサリーの一貫生産も任せられ、利用者の工賃向上と作業の選択肢拡大を図った。</li> <li>・スキャナや電子帳簿保存システムの導入、個別ブースの追加など、作業環境の整備とデジタル化を推進した。</li> <li>・レクリエーションの企画やマニュアル作成、備品管理等を利用者主体で行う仕組みを作り、主体性や責任感を育成した。</li> <li>・作業の治具改良や図解入りマニュアルの整備を利用者と共同で進め、経験を問わず誰もが一定の品質を維持できる環境を整えた。</li> </ul>			
② 今年度の活動目標			
<p>交通量調査やアケート作業の再受注、シャローム事務所の書類スキャン作業の本格運用を通じ、PC業務の安定を図る。またや飴の袋詰め、木玉アクセサリー制作等の軽作業では、図解入りマニュアルの整備と工程管理を利用者主体で行い、生産性と品質を向上させる。また作業改善の「提案書制度」を導入し、主体的参加を正當に評価することで工賃向上を目指す。支援面では、感情に頼らない書面での報告訓練やAIを活用したマナー学習を通じ、就労に必要な自律性を養う。スタッフは情報共有を密にし、一貫したフォローで安心できる環境を維持する。</p>			

部署名	Be・さぼーと	リーダー名	石川栄子
スタッフ名	菊地仰 石川栄子		
定員	20人以下	昨年度利用人数	9名
① 活動内容(昨年度の活動内容)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各企業または事業所での定期面談(月1回以上実施)</li> <li>・不定期での相談、面談の対応</li> <li>・ひまわりの会(全5回)実施(卒業生と利用者合同でランチや座談会などの交流)</li> </ul> <p>令和7年度は新規契約者が2名、利用期限終了者が2名、離職による終了者が1名となり、毎月10名前後で推移しました。毎月の面談の他、ひまわりの会を2～3ヵ月に1度開催し、卒業生と現在の利用者様が交流をする場を提供しました。卒業生の参加は1～2名ではありますが、交流により就職を目指している利用者様との良い情報交換の場となりました。</p>			
② 今年度の活動目標			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご本人と企業様との面談により丁寧な聴き取りと状況把握を行っていきます。また、状況によりご家族の困り感を聞き取り、多角的な視点を持ちつつ就労が安定するようにサポートをしていきます。</li> <li>・職場以外の安心できる場所として、事業所への来所やひまわりの会での交流など声掛けをおこない、職場や生活の小さな悩みも気軽に相談ができるよう、引き続き寄り添っていきます。</li> </ul>			

部署名	キッチンハーモニーポコ	リーダー名	曾根 美幸
スタッフ名	曾根美幸、野澤結加、田中育子、及川みさ、藤澤美保、湯浅正栄、寒河江恵、木村裕美		
定員	15人	昨年度平均出席率	104.6%

① 活動内容(2025年度の活動内容)

- ・月間平均売上¥991,624、日平均¥51,513、月平均弁作成個数1,613個、日平均個数83個。
- ・売上は安定していたが年間通して食材や包材の価格高騰が止まらず、内容の変更、容器や販売価格の見直しを数度行ったが原価率を下げる事が出来なかった。
- ・目標としていた「製菓部門」の立ち上げは無事申請が通り、1月後半から試作開始。低糖質、グルテンフリー、ヴィーガンの焼き菓子を展開し差別化を図る事にした。
- ・去年度から立ち上げた「就職部」は月二回定期的に行っている。スタッフがハローワークに同行したり講座を行う事、同じ目標を持つメンバーさん同士の関わりや情報交換も刺激になっている様子だった。
- ・2年目となる「商品開発部」は部員の意識が変わり、「売る為の物を作る」という視点ができ、販売できる原価などの部分も含めレベルアップが伺えた。

② 2026年度の活動目標

- ・原価率を下げ、工賃原資を確保していく。
- ・クッキーの販売を開始する。ソフトクッキータイプの大判のものと小さいサブタイプの種類展開をしていく。営業活動も行い、販売経路を広げていく。ギフトでの提供も検討。
- ・一般就労希望のメンバーさんが自信をもって就労できるように「就職部」の活動を活発に行う。

部署名	洋食厨房オリーブの杜	リーダー名	小野寺 健
スタッフ名	小野寺 健、鈴木 玲子、奥津 幸子、本城 久志、佐藤 たか子、岩本 知子		
定員	20人	昨年度平均出席率	54.9%

① 活動内容(2025年度の活動内容)

- ・月間平均売上¥1,530,309(一日平均¥76,515)
- ・売り上げは安定しており右肩上がりとなっていたが、食材費の高騰が止まらず、随時価格改定を行い対応した。職員自ら食材を仕入れることで、品質の維持や原価率を40%前後に下げることにつながった。
- ・国産黒毛和牛シリーズを展開し、サーロインステーキやカルビ重、すき焼き等を発売。高価格帯のメニューながらも固定客がついたことは成果である。

② 2026年度の活動目標

- ・オリーブの杜10周年の節目となる為、新メニューの開発やお客様に喜んでもらえるよう、営業活動を行う。
- ・原材料高騰に対応しながら純利益を上げ、授産から工賃原資を確保する。
- ・出勤率60%~70%を目標に、外部連携の強化や、見学・体験の方を利用に繋げる。
- ・メンバーさんの出来る事・強みに焦点を当て、一人一人が成長できる環境作りを目指す。

部署名	カフェ・オリーブガーデン	リーダー名	今野 陽子
スタッフ名	今野 陽子、葛西 美香子、北條 きよ子、河村 幸子		
定員	8名	昨年度平均出席人数	6名

① 活動内容(昨年度の活動内容)

○登録、支援状況

4月2名登録・4月1名退会、現在に至るまで所属メンバー8名で推移しています。通所率は目標平均128%を達成。3名の体験実習5件の見学対応を行いました。

活動以外にも余暇活動の充実やスキルアップを目指し、開所日数を最大限広げ、希望を調査しつつ行事やミーティングを実施する事で通所率の向上に繋げています。

○店舗営業状況

月替わりパスタ、ワンプレート、デザートを提供を継続、売上の目標10,500円平均を達成することが出来ました(まかない含む)。

メニューの値上げ、新しいメニュー表の作成目標を達成する事は出来ませんでした。

② 今年度の活動目標

○登録、支援目標：見学の受け入れは可能な範囲で対応、平均125%以上の通所率を継続目標として登録受け入れの検討を前向きに行います。所属メンバーさんだけでなく他部署や卒業生の居場所になるお店を目指し、他部署との連携を強めていきます。

○店舗営業目標：変化ある営業を目指して季節のメニューや行事に合わせたイベントを行い集客アップを目指します。メニューの値上げ、メニュー表の作成を半期に行い平均原価率40%以下を目指します。

部署名	相談支援事業所カイロス	リーダー名	佐藤 素子
スタッフ名	山崎寿之		
契約数	(3月末時点)55名		

① 活動内容(昨年度の活動内容)

昨年度10月から新規事業所として「障害者相談支援事業所 カイロス」が開所しました。10月から今年の3月までの半年間で55名の利用者と契約し、計画相談(プラン作成)及びモニタリングを行っております。3月からは相談支援専門員を1名増員し、現在は2名体制となりました。

新規利用者は、各区役所(障害高齢課・保護課・家庭健康課など)、発達障害支援センター、市内の精神科病院、更生保護施設などからの依頼が7割以上の状況です。

また、青葉区自立支援協議会では「地域展開チーム」のメンバーとしてお誘いを受け、青葉区宮城総合支所と地域の福祉サービス事業所の皆様と協働し、障害をもつ人たちの高齢化や8050問題などの地域課題のに向けた取り組みを進めております。

② 今年度の活動目標

今年度は、毎月の本計画及びモニタリング数について平均で60件程度を目標に頑張りたいと思っております。

そして、職員のスキルアップと報酬向上のため、医療的ケア児者及び高次脳機能障害を持つ人のマネジメント研修等、精力的に参加を進めていきます。またAKG及び基幹相談支援センター主催の勉強会などにも主体的に参加します。

青葉区自立支援協議会では「地域展開チーム」の一員として、今年度は地域の社会資源マップ作製の取り組みを進めていく予定です。チームの一員として地域の福祉連携と活性化に貢献していきます。

部署名	グループホーム： ハーモニーⅠ（西宮城野）	リーダー名	廣庭しおり
スタッフ名	松崎紀利枝、佐藤富子、阿部美智子、三村郁恵、阿部育子、佐藤智春、宍戸芳子		
定員	8人	昨年度平均出席人数	
① 活動内容(昨年度の活動内容)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・2025年8月に1名入居されたため満室となり全員で8名入居されています。(グループホーム6名、サテライト2名)</li> <li>・2/5(木)にハーモニーⅠにて地域連携推進会議を開催しました。利用者様ご家族、町内会の方、他事業所職員の方等にご参加いただき交流を通してグループホームについて知っていただくことができました。</li> <li>・メンバーさん居室の清掃、台所使用についてルールを明文化しメンバーさんに署名いただきました。</li> <li>・毎月居室訪問の目標を立てて担当の世話人さんと一緒に目標を確認しながら掃除、片付けを行うことができました。</li> <li>・メンバーさんでお誕生日の方がいる月は夕食にリクエストメニューとケーキを提供しお誕生日会を行いました。</li> <li>・クリスマス会で外出に行ったり季節の行事に合わせて夕食に行事食を召し上がっていただきました。</li> </ul>			
② 今年度の活動目標			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・サテライトの入居期限が入居後2年以内になっています。現在入居している2名は入居してから1年経過したため今年度は卒業後に住む物件探しや情報提供等を行っていきたいと思います。</li> <li>・グループホームに入居されていて卒業を目指している方がいらっしゃるため、市営住宅応募や民間住宅を探す際のサポートや情報提供を行っていきたいと思います。</li> <li>・秋頃に2026年度のグループ見学会を実施予定です。</li> <li>・今年度新しく2名世話人さんが入社されたためメンバーさんとの関わり方や業務内容について再度スタッフ全体で確認を行っていきます。</li> <li>・現在は満室ですが、グループホーム・サテライトに空きが出た時は関係機関に営業をかけ見学・体験を積極的に受け入れていきます。</li> </ul>			

部署名	グループホーム： ハーモニーⅡ（ゆめの里）	リーダー名	小松雅貴
スタッフ名	小松雅貴、竹ヶ原かよこ、小川忠美、今野栄二、村岡哲勇		
定員	10人	昨年度平均出席人数	
① 活動内容(昨年度の活動内容)			
<p>毎月1回メンバーMTを行い、生活面での問題等を話し合っている。活発な意見交換が出来ている。誕生日の方にはリクエストメニューを提供し、好評を得ている。レクにも力を入れて、花見、BBQ、外出といったレクを行った。レクではBBQレク、満天食堂お弁当テイクアウト、牛タン利休お弁当テイクアウト、燦の会では豚汁レクを行った。今年は少しレクが少な目だった為、次年度はもう少しレクに力を入れたい。</p>			
② 今年度の活動目標			
<p>今年度もメンバーMTとリクエストメニューの充実と、レクを6回は行いたいと考えている。また、居室の雨漏り等で老朽化が目立つようになってきている為、県と連携して早めに対処できるようにしていきたい。支援に関しては引き続き本人の出来る力を奪わずに生活に寄り添い、それぞれの目標に向かい生活訓練を送って頂</p>			

部署名	シャロームの杜ほいくえん	リーダー名	加藤 陽子
定員	19人		
<p>【園児の確保状況】今年度は4、5月で在籍園児数が17名となり、待機児も数名いるという嬉しい状況となっています。しかし、少子化の急激な加速は間違いないため、知名度のアップに向けて園舎横壁に看板を設置しました。また、昨年度に引き続き、より未就園児の保護者の目に留まるようなSNSを検討及び掲載すると共に、「企業主導型保育園とは」や「当園の魅力」も、同じくSNSで発信しているところです。</p> <p>【特色ある行事】3月に行った卒園式は、昨年度に引き続きノキシタの事業所のスタッフや会員の方々、カフェ オリーブの小路のスタッフや利用者の皆さん、また当園のボランティアの方々などに来ていただき、沢山の方に見守られて過ごしたことが伝わる式としました。また今回は、在園中の園児の成長や交流の様子が伝わる写真のコラージュをエンガワに貼らせていただき、保護者に見ていただくという企画を行い大好評でした。これからも、当園を選んでくださった保護者の方々が、「預けて良かった」と思える様な保育を行おうと思います。</p> <p>【保育・保護者支援・理念】日常的な手厚くきめ細やかな保育はもちろんの事、保護者支援もとても丁寧に行っています。また、今年度もエンガワ等他事業所のスタッフが入園当初から関わってくださっていて、当園の理念である「生きる力の根っこを育てる」事に協力していただいています。「プレーパークノキシタ」やEnglishtimeも子ども達は例年通り楽しんでいて、当園の魅力の一つとなっています。</p>			

# みやぎチャレンジプロジェクト



宮城県共同募金会 みやぎチャレンジプロジェクト  
赤い羽根共同募金

地域と共に・地域の力を借りて、地域共生活動にも力を入れていきます。

今年度のみやぎチャレンジプロジェクトでは**目標100万円**に対して**個人92名様、団体・会社様24名様より1,083,800円の募金を頂戴しました。**

皆さまからの心強い貴重なお支えを基に、3か所の子ども・地域食堂の運営ほか、地域活性化交流やひきこもり支援等に、有意義に活用して活動して参ります。

## 《 昨年度の活動 》

- 田子西子どもレストラン(毎月第1土曜日)
- 新寺まざらいん食堂(毎月第3土曜日)
- 愛子あがらいん食堂(毎月第4木曜日)
- 秋休み親子の書の会(10/14)
- 秋の地域祭りと収穫祭(9/28)
- 古地図を広げて語る会
- おこもり書の会

